

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件 1)

令和 2 年 3 月 31 日

住所 長野県松本市渚 4 丁目 1 番 1 号
企業名 林友グループ
代表者 株式会社林友 代表取締役 赤羽博樹

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

「感謝と奉仕」を企業理念に掲げる私たち林友グループは、森林や自然の恵みに感謝し木材の利用促進を通じて社会に貢献したいと考えています。これは S D G s の理念に相通じるものであり、社員一人ひとりがその意義を理解し、一丸となって取組みを実践することで S D G s の達成に貢献していきます。

3 側面 (主な分野に○)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 登録年月日:
①環境 ②社会 ③経済	太陽光発電・蓄電池の販売・普及を拡大させることで再生可能エネルギーの創出に貢献する。 又防災の観点からも安心して住み続けられるまちづくりに寄与する。	販売件数 5 倍 (2019 1 件 → 2030 5 件)	
①環境 ②社会 ③経済	非住宅建築物の木造・木質化の提案(新工法・技術)を積極的に行い、木造化建築物を増加させる。 「木で建てる」ことで建築時の環境への負担を軽減するとともに、自然素材ならではの使う人に優しく、街並みに調和した空間を増やすことで地域環境の持続的発展に寄与する。	木造化建築棟数 2 倍 (2019 3 棟 → 2030 6 棟)	
①環境 ②社会 ③経済	社有地・穂高 常念の森が、松くい虫の被害で枯れた為、平成 26 年に数百本を伐採した。翌年より毎年春に全社員で整備し自生した木を育てている。今後さらに被害の少ない広葉樹を植林し、2030 年までになくなった森を蘇らせる取り組みを行う。これは地域環境の保全とともに、社員が森林の大切さを学ぶ場として位置付けられる。	開催数 年 2 回 (2019 1 回 → 2030 2 回)	

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、(様式第 3 号)「SDGs 達成に向けた具体的な取組」(要件 2)に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の 3 側面の全てについて重点的な取組を記載してください。なお取組が複数の分野にまたがる場合は、それぞれの分野に「○」をしてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、年 1 回以上進捗管理を行い、状況を記載してください。